

普及活動情勢報告（令和6年12月分）

中央西農業振興センター高知農業改良普及所

露地ショウガの生産安定に向けて ～貯蔵中の腐敗防止対策試験～



試験の様子

11月25日、JA高知市マル朝生姜生産組合員のは場2カ所で、葉面散布剤試験の収穫調査を実施しました。

この資材は、ショウガの乾物率向上により、貯蔵中の腐敗防止効果が期待されることから、試験農家からは、「貯蔵中の腐りが少なくなったら、手取りが増えるし助かる」との声がありました。

普及所は今後もJAと連携し、貯蔵中の腐敗状況の確認調査を継続して行い、産地の生産力向上に向けた支援に取り組んでいきます。

良い農業にしていこう！ ～JGAPの取り組み支援～



帳票類の点検の様子

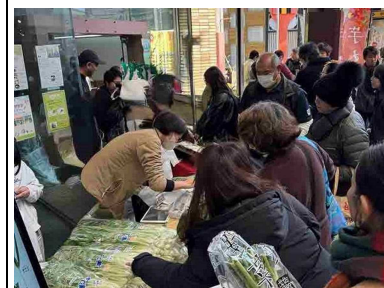
12月13日、春野地域でJGAPに取り組むトマト生産者1戸を対象に、認証維持審査に向けて支援しました。

一般財団法人日本GAP協会の基準書をもとに、前回審査時に指摘された是正項目の現状確認や、食品安全、生産基盤及び労働安全に関する取組の確認を行いました。

生産者からは基準書の各項目の考え方などの質問があり、JGAPに対する積極的な取り組み姿勢が見られました。

普及所は今後も引き続きGAPの取組を積極的に支援します。

知って、買って、食べられる！ ～牧野野菜マルシェの開催～



野菜販売の様子

12月15日、はりまや橋商店街の「はりまやアンサンブル」にて、伝統野菜生産グループTeamMakinno+サポーターズ主催の、牧野野菜マルシェが開催されました。普及所は、マルシェの運営を支援しました。

マルシェでは、潮江菜や山内家伝来大根などの伝統野菜を使った料理や加工品の販売、また、潮江東小学校と布師田小学校の生徒による野菜販売が行われました。

来店客からは、「これはどんな野菜？」「どうやって食べるとおいしいの？」など質問があり、児童たちは授業で作ったレシピを一生懸命に説明していました。

普及所は今後もTeamMakinnoの活動を支援していきます。

新規就農の確保・育成 ～農業担い手育成センターでの研修状況確認～



研修の状況を聞き取り

12月18日、JA高知県春野営農経済センターと普及所の職員3名が農業担い手育成センターを訪問し、高知市でキュウリ、トマトでの就農を目指している研修生2名と面談し、研修状況の聞き取りを行いました。

研修生からは「農業の座学を受講したことで作業の意味が理解できるようになった」「農業機械の操作や施設管理など実践的なことを学べた」など、就農を目指す仲間とともに充実した研修ができているようでした。

普及所は、今回の研修状況を春野新規就農者支援チーム会や担い手協議会で共有するとともに、研修生が円滑に就農できるよう支援していきます。